

令和元年度 鹿児島県中学校総合体育大会
空手道競技大会要項

- 1 大会名 鹿児島県中学校総合体育大会空手道競技大会（兼九州大会予選）
- 2 期 日 令和元年7月22日（月）
- 3 日 程 令和元年7月22日（月） コート設営 ※ 参加者全員で行う。
開会式 午前9時30分（予定）
競技開始 午前9時50分（予定）
閉会式 競技終了後
- 4 会 場 『県総合体育センター体育館』
- 5 参加資格 (1) 県内中学校自由参加とするが、同一校生徒で編成されたチーム及び個人で、当該校の校長が出場を認めた生徒であること。
(2) 監督は、当該校の学校職員（常勤）・部活動指導員とする。（事務職員・主事・司書補等も可）
(3) 引率業務は、当該中学校の校長・教員・部活動指導員とする。
(4) コーチは、当該校の学校職員、又は登録された外部コーチとする。（外部コーチ確認書を提出した者）
(5) 鹿児島県中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、コーチ等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等（以下「暴力等」）により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。
- 6 競技種目及び参加制限 (1) 男女団体形競技
① 同一校による3人で編成し、出場資格登録は5名までとする。
② 男女混成チームは認めない。
③ 男女とも各校1チームのみとする。（男子1、女子1）
(2) 男女個人形競技
① 種目は、「1年の部」男女別、及び「共通の部」男女別とする。
② 参加制限は「1年の部」男子2名、女子2名、「共通の部」男子4名、女子4名までとする。
*（九州大会は「共通の部」から選出する。1年生は「1年の部」または「共通の部」のいずれかに出場する。両方に出場することはできない。）
(3) 団体組手競技
① 同一校による3人で編成し、出場資格登録は5名までとする。ただし、最低2名でも参加可能とする。（その場合は大将を棄権）
② 男女混成チームは認めない。
③ 男女とも各校1チームのみとする。（男子1、女子1）
(4) 個人組手競技
① 種目は、「1年の部」男女別、及び「共通の部」男女別とする。
② 参加制限は「1年の部」男子2名、女子2名、「共通の部」男子4名、女子4名までとする。
*（九州中学総体は「共通の部」から選出する。1年生は「1年の部」または「共通の部」のいずれかに出場する。両方に出場することはできない。）
(5) いずれの競技も登録選手以外の出場は認めない。
- 7 競技規則 (1) （公財）全日本空手道連盟競技規定・同細則並びに審判規定・同細則に準じる。
(2) 組手競技においては、安全面を考慮し、倒した又は倒れた相手への蹴り技は禁止する。
(3) 組手競技は、安全具（ニューメンホー・ボディプロテクター・拳サポーター（赤・青）・シンガード・インステップガード・金的カップ〈男子のみ〉）を使用する。安全具は、全空連検定のものを各学校で準備し、不備なチームは組手競技への参加を認めない。
テーピングはコート長が必要と認めたときのみ許可する。
- 8 競技方法 (1) 形競技
① 団体戦
ア 予選・決勝ともに得点方式とする。
イ 決勝進出校数は、参加申込数により、6月27日の抽選会時の競技運営委員会で決定する。
ウ 予選は、（公財）全日本空手道連盟第Ⅰ指定形または鉄騎（ナイハンチ）、三戦、撃砕Ⅰ、撃砕Ⅱ、平安（ピンアン）初段～五段とする。
エ 決勝は、（公財）全日本空手道連盟第Ⅱ指定形とする。
② 個人戦
ア 予選を得点方式、決勝トーナメントをフラッグ方式とする。
イ 決勝トーナメント進出者数は、原則8名、但し参加者数が20名未満の場合4名

とする。4名未満の場合は、予選を廃し、得点方式で勝敗を決する。その場合、指定形とする。

ウ 予選は個人戦・団体戦を問わず、(公財)全日本空手道連盟第Ⅰ指定形または鉄騎(ナイハンチ)、三戦、撃砕Ⅰ、撃砕Ⅱ、平安(ピンアン)初段～五段とする。

エ 決勝トーナメントは、初戦を(公財)全日本空手道連盟第Ⅰ指定形とする。(予選と同じ形でよい)

オ 決勝トーナメント2回戦以降決勝まで、(公財)全日本空手道連盟第Ⅱ指定形とし、繰り返してもよいものとする。但し、決勝戦のみ、得意形も認める。

カ 1年生の部は、決勝トーナメント2回戦以降も、(公財)全日本空手道連盟第Ⅰ指定形でもよい。(予選・決勝トーナメントと同じ形でよい)

キ 個人戦決勝トーナメントは、赤・青2名同時に演武する。

③ 第Ⅰ・Ⅱ指定形は、(公財)全日本空手道連盟競技規定の「付録7：指定形リスト」から選択する。

④ 予選通過に関わる同点は、次の順で勝敗を決する。

ア 採用された得点内の最低点の比較

イ 採用された得点内の最高点の比較

ウ イまで同点の場合、形を変えて再試合を行なう。

(2) 組手競技

① トーナメント方式で行う。

② 6ポイント差で勝利とし、競技時間を実タイム1分とする。但し、九州大会出場にかかわる試合(個人共通の部準々決勝、団体戦準決勝)以降は実タイム1分30秒とする。

③ 先取が派生しない引き分けの場合、個人戦は判定により勝敗を決する。団体戦は総ポイント数も同じ場合のみ勝者決定戦を行う。

9 競技委員

(1) 競技運営委員…県中体連空手道専門部委員及び出場校監督、引率教員、県連関係者

(2) 審判員……県中体連空手道専門委員・県高体連審判員・(公財)全空連公認審判員

10 組合せ

組合せは、令和元年6月27日(木)抽選会にて、理事及び専門委員立ち会ひの上一斉に行う。出場校の監督は、出席し抽選にあたる。(出席のない場合は、専門部長に一任したものとする)併せて、競技運営委員会を開く。

11 監督会 審判会

大会当日、令和元年7月22日(月) 9時00分より会場で行う。

12 申込方法

(1) 期限 **令和元年6月19日(水)** <締切以降のものと電話による申込みは認めない>

(2) 規定 「参加申込書」を作成し、押印の上、下記宛に申し込む。

(3) 申込先 〒894-0511

奄美市笠利町里364番地 赤木名中学校内 西 香穂美 宛

(4) 参加申込料 1人500円(補欠を含む)を、大会当日8時50分までに会場の受付に納める。

13 表彰

(1) 各種目とも4位まで表彰する。

(2) 学校総合として、次の点数配分による上位校を3位まで表彰する。

		1位	2位	3位	4位
形	団体	10点	7点	4点	2点
	組手	6点	4点	2点	1点

(3) 総合優勝校には、優勝旗を授与する。(優勝旗は大会持ち回り)

14 その他

(1) 出場者は、空手道衣背部に、下様の標識(ゼッケン)をつける。また、左胸は学校名のみ可、その他は取り外すか、白布で隠す。左袖の県名は可。

赤 木 名	B5サイズ横
西	

(2) 九州中学総体の出場について(8月9日～10日、宮崎市「KIRISHIMAツワブキ武道館」)

① 団体戦は、上位2チームが出場権を獲得する。

② 個人戦は、「共通の部」のみ、各種目上位4名が出場権を獲得する。

(3) 駐車場については、大会・競技役員のみ体育館東駐車場を利用できる。(駐車券をフロントガラスに提示する。)

(4) 大会運営上、生徒引率及び監督の学校職員に、審判及び大会運営をお願いすることがあります。

(5) 赤帯・青帯は、原則として、選手又は学校で用意した帯を使用する。